

**製品名: hnRNP H ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12146**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	49kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HNRNPH1/HNRNPH2
別名	HNRNPH1; HNRPH; HNRPH1; Heterogeneous nuclear ribonucleoprotein H; hnRNP H; HNRNPH2; FTP3; HNRPH2; Heterogeneous nuclear ribonucleoprotein H2; hnRNP H2; FTP-3; Heterogeneous nuclear ribonucleoprotein H'; hnRNP H'
遺伝子 ID	3188.0
SwissProt ID	P31943/P55795
免疫原	抗血清はヒト hnRNP H 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 156-205

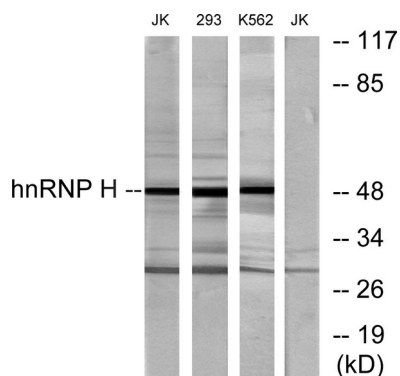
**背景**

異種核リボ核タンパク質 H1 (H)(HNRNPH1) Homo sapiens この遺伝子は、普遍的に発現する異種核リボ核タンパク質 (hnRNP) のサブファミリーのメンバーをコードしています。hnRNP は、異種核 RNA と複合体を形成する RNA 結合タンパク質です。これらのタンパク質は核内の pre-mRNA と関連しており、pre-mRNA のプロセッシングや mRNA 代謝および輸送のその他の側面に影響を及ぼすと考えられています。すべての hnRNP は核内に存在しますが、一部は核と細胞質の間を往復することがあります。hnRNP タンパク質はそれぞれ異なる核酸結合特性を持っています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、RNA に結合する準 RRM ドメインの3つの繰り返しを持ち、ファミリーメンバーの HNRPF と非常に類似しています。この遺伝子は、遺伝性リンパ浮腫I型と関連している可能性があります。選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが報告されています (RefSeq 提供、2012年3月)。ドメイン: 各準 RRM リピートはポリ RG に結合し、N 末端の QRRM のみがポリ RC とポリ RU に結合しました。いずれのリピートも検出可能な量のポリ RA に結合しませんでした。機能: このタンパク質は、異種核リボ核タンパク質 (hnRNP) 複合体の構成要素であり、細胞質内で機能的で翻訳可能な mRNA になる前に pre-mRNA が受ける処理過程の基質となります。ポリ RG に結合します。類似性: 3つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含みます。サブユニット: FUBP2、PTBP1、PTBP2、および HNRNPH1 を含む三元複合体の一部です。スプライソソーム C 複合体に同定され、少なくとも AQR、ASCC3L1、C19orf29、CDC40、CDC5L、CRNKL1、DDX23、DDX41、DDX48、DDX5、DGCR14、DHX35、DHX38、DHX8、EFTUD2、FRG1、GPATC1、HNRPA1、HNRPA2B1、HNRPA3、HNRPC、HNRPF、HNRNPH1、HNRPK、HNRPM、HNRPR、HNRPU、KIAA1160、KIAA1604、LSM2、LSM3、MAGOH、MORG1、PABPC1、PLRG1、PNN、PPIE、PPIL1、PPIL3、PPWD1、PRPF19、PRPF4B、PRPF6、PRPF8、RALY、RBM22 から構成されています。RBM8A、RBMX、SART1、SF3A1、SF3A2、SF3A3、SF3B1、SF3B2、SF3B3、SFRS1、SKIV2L2、SNRPA1、SNRPB、SNRPB2、SNRPD1、SNRPD2、SNRPD3、SNRPE、SNRPF、SNRPG、SNW1、SRRM1、SRRM2、SYF2、SYNCRIP、TFIP11、THOC4、U2AF1、WDR57、XAB2、および ZCCHC8。組織特異性: 普遍的に発現します。

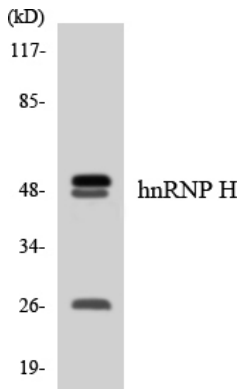
## 研究分野

-

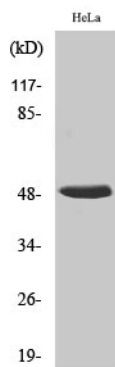
## 画像データ



Jurkat 細胞、293 細胞、および K562 細胞のライセートを hnRNP H 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーン合成ペプチドでブロッキングされている。



hnRNP H 抗体を用いた 293 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



hnRNP H ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析